

12月 院内感染対策ニュース 12月

2025年12月号

2025年12月16日

院内感染対策委員会

インフルエンザ流行中、発生状況報告

今年もあと数日で終わり、新しい年を迎えます。1年が経過するのは早いですね。先月、インフルエンザについて取り上げましたが、その後、さらにインフルエンザが猛威を振るっています。今回は、最新のインフルエンザ発生情報をお届けします。

最新のインフルエンザ発生情報

今期のインフルエンザは1か月程度流行が早まっています。北海道内でも第47週では前週の2~3倍近い人数が陽性となっていました。学校や学年閉鎖もたくさん出ました。今回の流行はサブクレードKという変異株によるものが主流となっているようです。これから年末年始にかけて、人流が増え、普段合わない人と会う機会も増えるでしょう。そうなると、呼吸器感染症が増加しやすくなります。人ごみにお出かけの際にはマスク着用、手洗い、手指消毒を徹底しましょう。現在はA型が主流ですが、年明け後はB型が流行してきます。B型の特徴では消化器症状が出やすいとされています。発熱や咳、鼻汁、咽頭痛がある場合はインフルエンザやコロナウイルス感染症の場合を考えられますので、悪化する前にお近くの医療機関に受診されることをお勧めします。

直近12/1~7の インフルエンザ発生数

全国：未発表
北海道：4856人

中標津179人

根室30人

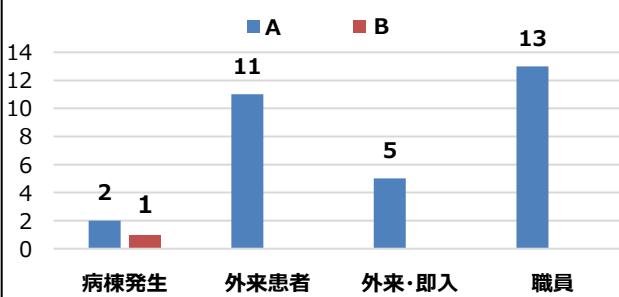
釧路349人

札幌1227人

帯広271人

釧路は前週から半減近く減少しているが引き続き対策を。

2025年度 インフルエンザ発生状況



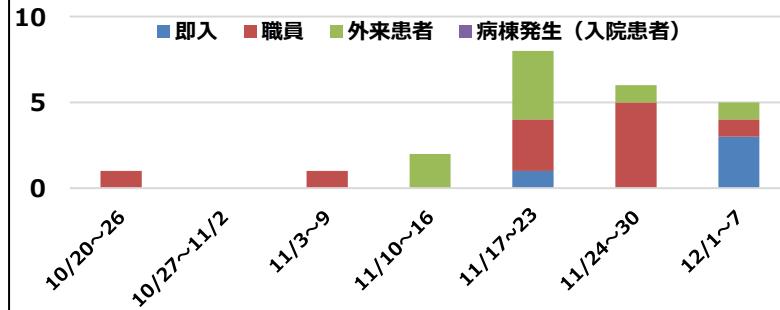
インフルエンザの就業制限期間

当院ではインフルエンザの就業制限は学校保健法に則って決めています。院内感染対策マニュアルにも掲載していますのでご確認下さい。

発症後5日かつ解熱後2日を経過するまで自宅待機をお願いしています。発熱等の症状がある場合はお休みすることも感染防止には重要です。下の表は就業制限の参考にしてください。これは当院の取り決めです。職場の取り決めに従ってしっかり休養することが大切です。



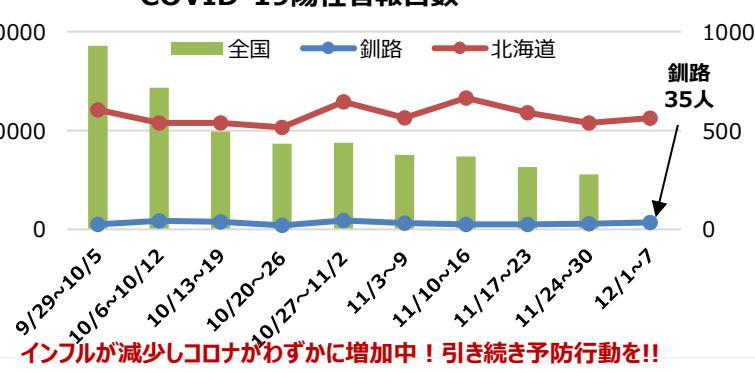
当院における週別 インフルエンザ発生状況



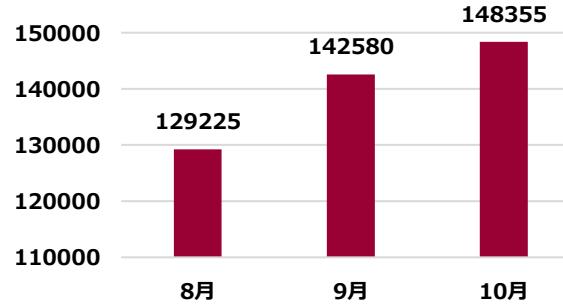
全国

COVID-19陽性者報告数

北海道感染症情報センター公表



2025年度 手指消毒薬使用量



感染症対策のお願い

発熱などの有症状時は直接受診することは控え、病院へ連絡してから来院して下さい。当院への受診の際は必ず、マスク着用をお願いします。また、受診時の付き添いの方は1名までとさせていただいております。面会は個々の患者さんの状態に応じて対応しています。

陽性の方は症状悪化した場合等は診断を受けた医療機関へご相談下さい。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。